



カーネーション ナデシコ科 開花期 3~5月



週報  
通算 1954回  
39号

例会日：水曜日  
第1・第2 夜間・18:30~  
第3・第4・第5 昼間・12:30~  
例会場：華月殿 和歌山市屋形町 2-10  
事務局：〒640-8215 和歌山市橋丁 23  
サイバーリンクス N-4ビル 2階  
TEL 073-423-3666 FAX 073-423-7200  
<http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html>  
E-mail: a-rotary@coral.cypress.ne.jp

会長：辻本圭三 幹事：土屋一博  
クラブ会報委員長：籠田 弘 副委員長：和田 薫

本日の例会  
5月21日(土)  
18:00~

ロータリーソング：四つのテスト  
行事：親睦家族旅行・例会  
エキシブ白浜アネックス

次回の例会  
5月25日(水)  
12:30~華月殿

行事：IDM発表④  
ロータリー情報・規定委員会

先週例会報告

ゲスト・ビジターはございません。

会場監督 鯨 拓也

会長挨拶

辻本圭三 会長



- 恒例に従い、RI テーマの唱和をお願い致します。「地域を育み、大陸をつなぐ」
- 日本の代表的な桜である「染井吉野」について

いま我々が目にする桜の大半はソメイヨシノであります。今や全国の桜の8割以上がソメイヨシノで占められているといわれています。このソメイヨシノは人の手によって作り出されたものであり、接ぎ木や挿木によってのみ増える、いわゆるクローン桜です。したがって、全国にあるソメイヨシノは1本の木から増えた複製ということになります。この品種の誕生については長い間 判らない部分もあったようですが、最近の遺伝子研究によって、オオシマザクラとエドヒガンザクラ系の掛け合わせによって作られたものであることが判明したのであります。ソメイヨシノの生誕地は江戸染井村（現在に東京都豊島区駒込）であります。豊島区役所によれば、伊藤伊兵衛政武（1676~1757年）と言う植木商がソメイヨシノを作ったとのこと。政武は江戸城の御用植木師を務めていたようです。いつ頃、このクローン種を作ったのかは判然とはしませんけれども、おそらくは吉宗（1684~1751年）が將軍の時代ではないかと思われま。吉宗が將軍となった当時、江戸は退廃と享樂的なムードが標っており、桜の花見も隆盛を極めていた時代でした。

桜の花見としては上野の山が代表的ですが、余りにも喧騒が過ぎたらし、鳴り物が禁じられたり、花見の宴は夕方までと刻限が設けられたりしました。しかし、時の幕府は、上野の山での一極集中が町民の不満をもたらしかねないと危惧し、新たな花の名所を作ることで治安を図ろうとしたのです。そして、隅田堤、品川御殿山、飛鳥山、多摩小金井村などの地を選定し、そこに多くの桜を植樹したのですが、このような時代にソメイヨシノが作り出されたといわれています。

ソメイヨシノが全国に広がったのは明治時代でした。ソメイヨシノが売り出された当初は単に「吉野」と呼ばれていたのですが、明治30年頃、東京帝室博物館（現国立博物館）の職員であった藤野寄命（きめい）が「染井吉野」と命名したことで、以後ソメイヨシノと呼ばれるようになったのです。ソメイヨシノが人気を博していく中であって、明治15年、弘前城址に1千本のソメイヨシノが植えられました。今から130年前に植えられた桜ですが、今も樹勢は盛んで見事な花を咲かせているとのことであり、現存するソメイヨシノでは日本最古の株といわれています。なお、百年以上の樹齢を持つソメイヨシノは弘前以外でも見ることが出来るようです。

幹事報告

土屋一博 幹事



5月17日理事会報告

- 東北地方太平洋沖地震による被災児童等の支援策について、理事会で検討。大変重責のある内容なので慎重に考えなければいけないが、例会でアナウンスすること、個人的に希望があれば 会は情報の提供をすることになった。現在、内容について 具体的でない部分が多いが、進行整理され次第、継続してアナウンスしていく。
  - JR 和歌山駅正面メイン花壇の看板及び、JR 和歌山駅西口地下通路掲示板についてのレイアウトが決まりましたので、製作を始め、今期中に設置します。
1. GSE 地区委員より、GSE チーム出迎えについてのお誘いがきております。5月14日(土) 12時25分関空着です。
  2. 親睦家族旅行はバスを出します。5月21日(土) 14時に華月殿、紀三井寺競技場を経由します。



ニコニコ	米山奨学金	ロータリー財団	東南育英会	40周年記念BOX	東日本大量災義援BOX	
累計	1,641,640	220,000	369,000	79,000	825,400	111,805

出席報告

出席者 出席率

会員総数	49名	5/11	39名	81.25%
出席免除会員	3名	4/20	41名	85.42%



**ニコニコ箱**

和田 達男 会計

辻本君・昨日の地震、恐かったです。  
 山口君・ひさし振りに東南会に出席します。  
 吉田君・竹中様、釜中様、鯨様いろいろとお世話かけました。  
 竹中君・釜中様、吉田様、鯨様、先日はありがとうございました。  
 籠田君・本日、お耳を汚します。  
 山田(さ)君・D班のメイクアップに参加させて頂き、ありがとうございました。  
 ご本人お誕生日お祝い・神谷君、坂口君、山本君、谷口君。  
 配偶者お誕生日お祝い・楠本君。

**東南育英会**

和田達男会計

辻本君・台風1号 気になります。  
 郷間君・たった今、5人目の孫 生まれました。

**東日本大震災義援金**

和田達男会計

保田君・長い永い連休も終わり、ゴルフでは負さいが重なり、腹が立って寝れません。

**クラブフォーラム 会報委員会 委員長 籠田 弘 「ロータリーの友雑感」**

- (1) ロータリーの友は、国際ロータリーの許可を受けたロータリーの日本での機関紙です。
- (2) ロータリアンがロータリーライフを深めるためにも、又クラブが国際ロータリーと直結しているという認識のためにも必要な媒体です。
- (3) 編集の狙いは、ロータリアン一人ひとりのためのロータリーについての広がりや深まりのための、いわばロータリー活動の視点からの面白さがその有無です、それ故に、ゴシップや、漫画を多用したり、歴史小説を連載することはありません。
- (4) 基本的にはロータリアンのための機関・情報誌です。世界や日本におけるロータリーの状況やロータリーの活動について、全国のロータリアン情報や思いを共有出来るより身近で親しまれる編集にされています。
- (5) ロータリアンとしての意見の開陳や経験談、職業上の知識など掲載され、交流をはかる「ひろばと云う空間」を提供されています。「友」誌の縦組みのページがそれに当たります。
- (6) いろいろな情報や思いが詰まっている倉庫から、何を取り出し、何を学び、何を感じ取るかは一人ひとりに託されています。
- (7) 創刊は1953年1月号から当初発行部数は3300部、58年後の2010年7月号では約9万9300部、通巻691号を数えている。

(以上 ロータリーの友手引きより参照)

過去数年間の記事から興味をもった物をいくつかピックアップしてみます

## ◆話題 「水」について

社会的な面から

(世界の水問題は 日本の問題) 2010年9月号 諏訪東京理科大学教授 天野 輝芳氏

- (a) 地球の危機 それは水の危機
- (b) 世界的に水の需要急増
- (c) 今 世界で10億人以上の人々が水に苦しんでいる
- (d) 毎年 180万人の乳幼児が汚染された水が原因で死亡
- (e) 水と食料問題

等を提起 解説されている。

民俗的な面から

(日本人が抱いた水への意識) 2007年12月号 信州大学教授 笹本 正治氏

日本人の水に対する敬虔な気持ちを語られている 禊 神事を通じて水の神聖さを解説

## ◆産業・金融 (スマート・グリッド) 2011年3月号 中部電力浜松営業所 清澤和紀氏

「知的な送電網」今、話題の効率的な電力システムを構築する概念

(日銀) 2010年2月号 日銀高知支店長 衛藤公洋氏 「お札の話題」

◆人物 (成功の法則) 松下幸之助は何故成功したか PHP 総合研究所前社長 江口 克彦氏  
人材育成始め具体的な経営方針が解説されている

## ◆縁 (古参会員の体験談) 2009年9月号 和歌山西 RC

和歌山 RC 湯浅氏のシベリア収容所での命の恩人との奇跡的な邂逅は感動的

(53年ぶりの巡り合い) 2010年9月号 松山 RC 医大生時代の下宿仲間との奇遇

('友'からの出会い) 2010年11月号 東京立川 RC 「友誌」から戦友との縁を感じる

(ロータリアンを結び合わせた万葉集) 2010年8月号 浦和北東 RC

85歳と76歳がロータリーの友と万葉集を通じてご縁

## ◆委員会活動

(不要入れ歯の回収 貴金属の回収で活動費を) 2008年12月号 鳥栖 RC

(優良高校生を表彰) 2009年6月号 太田 RC

地元高校生から教養 体育 道徳面から選出し表彰 事業開始から50年の歴史

「ロータリーの友」には、一見難しく思える記事もあると思いますが、全ての記事にロータリアンだからこそ  
 の見聞や触れ合いの記事があります、また 違った視点や知的な刺激を感じることも出来ると思います。  
 是非 毎号ご一読ください!!